

埼臨技だより

発行所 埼臨技 埼玉県臨床検査技師会

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7 TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095

URL:<http://www.sairingi.com/> 携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

「大腸がん予防啓発活動」 in さいたま

日本臨床衛生検査技師会ではがん制圧月間啓発活動（9月・10月）、エイズ・性感染症（Sexually Transmitted Infections : STI）予防啓発教育事業を、各都道府県手あげ方式による公益委託事業として行っています。この一環として埼玉県臨床検査技師会では去る9月28日、土曜日の午後から爽やかな秋晴れのもと、総勢16名のスタッフが集まり、大宮駅西口デッキ上で昨年度に引き続き『大腸がん予防啓発活動』を行いました。当日はお揃いのTシャツを着用し、日臨技・埼臨技の名前を入れた幟（のぼり）のもと、街行く市民に大声で大腸がん早期発見の検査の重要性を訴えながら、病気や検診についての小冊子とディズニーキャラクターのブランケットをラッピングして配布しました。なかには



「どうやって大腸がん検診を受けるのか?」、「大腸がんの検査はどういうものがあるのか?」と熱心に質問される方もおり、スタッフがそれぞれ丁寧に説明をしていました。

日臨技では今年度より国民へ臨床検査の正しい知識を普及するとともに、臨床検査技師の知名度の向上を図る“健康と検査展”を臨床検査月間に併せて全国規模で企画しています。

近隣では群馬県臨床検査技師会



検査技師会で11月16日(土)、前橋市の群馬会館を『全国検査と健康展』の中央会場として、主に小中学生を対象にした「検査の世界展」、講演会やシンポジウムを含め多くのイベントを予定しています。会員のみならず、そちらもぜひ！参加してみたいはいかがでしょうか。

(文責：高嶋浩一)



第42回埼玉県医学検査学会

もうすぐ第42回埼玉県医学検査学会開催です

運営部長 奈良 豊

12月1日(日)「匠」～臨床検査における限りなき追求心～ のテーマでいよいよ開催となります。すでに抄録集は配布されましたが、ご覧になりましたでしょうか。当日のご予定は大丈夫ですか？聞きたい演題やセミナーはチェックしましたか？

今回は開催に先立ちまして、運営のお知らせをさせていただきます。

- 1. 学会受付は8時30分より開始します。
大宮ソニック 4 F 市民ホール前 総合受付にて行います。会員証を提示（会員証をお忘れなく）の上、学会参加費2,000円をお支払いいただきます。その際、おつりの無いようにご協力をお願いいたします。
- 2. 演者・司会・座長の方はご担当の30分前までに受付を済ませてください。送付していただいたCD-R、USBメモリーは受付時に返却いたします。また、当日、会場での発表用ファイルの入れ替えは一切できませんのでご了承ください。
- 3. ランチョンセミナーの整理券は1人1枚ずつの配布となります。整理券に記載してある会場以外ではお弁当は受け取れませんのでご注意ください。参加するセミナーを事前に抄録集でチェックしてから整理券をお受け取りください。
- 4. ランチョンセミナーに参加される方はお弁当の数に限りがありますのでお早めに整理券をお受け取りになることをおすすめします。整理券がなくてもセミナーの聴講は可能です。
- 5. 会場では携帯電話およびスマートフォンは必ずマナーモードか電源オフに設定してください。学会進行の妨げとならないようにご配慮をお願いいたします。
- 6. 講演中の許可なき録音、写真・動画撮影はご遠慮ください。
- 7. 会場内ではランチョンセミナー以外での飲食は禁止です。また、会場内は禁煙です。喫煙は所定の場所をお願いいたします。

実行委員、実務委員ともに盛会になるように、全力で運営を行います。学会運営を円滑に行うために会員の皆様のご協力をお願いいたします。また、多くの会員、賛助会員の皆様にご参加いただけるように心よりお待ちしております。



各研究班の研修会報告を致します。

テーマ B型肝炎の検査・診断・治療における最新的话题について

主催 血清検査研究班

実施日時：平成25年5月31日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科一20点

講師：江川 孝則（富士レビオ株式会社 学術サービス部 学術支援担当）

参加人数：会員36名 賛助会員2名

出席した研究班班員：齊藤雅一 庄司和春 佐野悦子 相坂由里子 鈴木淳子 持田和紀
大島まり子

研修内容・感想など

今回は、江川氏によるB型肝炎の感染状況、感染予防・治療、検査について基礎から最新の話題までをご講演いただいた。

B型肝炎はHBVが血液や体液を介して感染し、世界で約4億人、日本では140万人以上の既往感染者が存在し年間約3500人が死亡している疾患である。HBVは感染後多数の関連粒子を発生させるため、私たちはそれらに対応するHBV関連マーカーの推移を見ることになる。さらに、HBVにはgenotypeの存在があり「B型慢性肝炎治療ガイドライン」によると、治療効果はgenotypeにより異なるとしている。現在、日本で接種されているワクチンはgenotypeBのみを免疫したものであるため、今後はユニバーサルワクチネーションにするべきであるとのことであった。

最新のB型慢性肝炎治療薬は、PegIFNとエンテカビル（核酸アナログ）の併用であるが、HBVを排除することは不可能なため鎮静化をはかることを目的としている。「B型慢性肝炎治療ガイドライン」によると、患者がドラッグフリーになれるようにHBs抗原陰性化を目指しているとのことである。近年、ステロイド・免疫抑制剤・抗がん剤など治療後のHBV再活性化（denovo肝炎）が報告されている。2013年4月改訂の「B型肝炎対策ガイドライン」は、HBs抗原のモニタリングが有用としている。

今回の研修会では、従来よりも感度の優れた超感度HBsAgの測定を可能としたと情報提供をしていただいた。今後、私たちは超感度HBsAg測定機器の普及により肝炎撲滅の一翼を担いたいと思う。

（文責：大島まり子）

テーマ 「もう怖くない髄液検査」～日当直帯を中心に、初心者大歓迎～

主催 一般検査研究班

実施日時：平成25年7月26日 19時00分～21時00分

会場：浦和コミュニティーセンター 第13集会室 点数：専門教科－20点

講師：深田 茂則（埼玉医科大学国際医療センター）

室谷 明子（埼玉医科大学病院）

協賛：シスメックス株式会社

参加人数：会員67名 非会員5名

出席した研究班班員：山浦久 小関紀之 竹山梨枝子 土屋貴絵 槇島碧

研修内容・感想など

4月、5月に引き続き、主に初心者を対象とした研修会を行った。今回は、髄液検査である。髄液検査は、一般検査の中では細胞数のカウントなど迅速かつ正確な結果が求められる代表的な検査であるため、手技に不安を持っている技師も多いことと思われる。

深田技師からは、髄液の生成などの解剖学から髄膜炎の種類別の検査データなどの基礎的なことを講演していただいた。

室谷技師からは、細胞数のカウント方法や細胞の鑑別のポイント、赤血球補正などについて講演していただいた。興味深かったのは、細胞数のカウントにかかった時間を埼玉医科大学病院の一般担当の新人技師と日頃ルーチン帯で髄液検査を行っていない新人技師とで比較したところ、髄液検査を行っていない新人技師の方が倍近く時間がかかってしまっていたことである。また、埼玉医科大学で使用している動画での髄液検査手技マニュアルを紹介された。当直帯で不慣れな検査が出てしまうと、焦ってしまい、ミスが犯しがちだが、このような動画マニュアルがあると安心して検査が行えると思う。一般検査以外の検査にも動画マニュアルがあるようで、とても参考になった。

（文責：竹山梨枝子）

テーマ **予防接種の現状 ～不活化ポリオワクチンの導入～**

主催 公衆衛生検査研究班

実施日時：平成25年9月13日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 901号室 点数：専門教科－20点

講 師：森 泰二郎（森こどもクリニック）

司 会：菊地 孝司（さいたま市健康科学研究センター）

参加人数：会員27名 非会員1名

出席した研究班班員：穴原賢治 長崎広美 阿保一茂 榊原外江 鈴木勤 立塚梓 菊地孝司

研修内容・感想など

講演は、感染症・免疫学の基礎的な部分から始まり、予防接種、特にワクチンについて詳しく講演していただいた。現在、予防接種に使用されるワクチンには生ワクチン、不活化ワクチン、トキソイドの3種類があり、それぞれを単独または組み合わせて接種されている。

現在のところ、野生株によるポリオの発生はナイジェリア、アフガニスタン、パキスタン等の一部の地域となっているが、ワクチン未接種地域または接種率の低下した地域ではポリオの流行が発生しており、ワクチン接種の重要性が確認されている。ポリオワクチンには、生ワクチンと不活化ワクチンの2種類ある。生ワクチンは弱毒株を経口投与することで、体内における血中中和抗体の誘導及び腸管でのウイルス増殖を抑制するが、ごく稀にワクチン関連麻痺（VAPP）の発症、ワクチン由来株によるポリオ流行のリスクを抱えている。VAPP発症のリスクを解消する目的で、国内でも不活化ワクチンが2012年9月に導入され、同年11月には、従来の3種混合ワクチンに不活化ポリオワクチンを加えた4種混合ワクチンが導入された。不活化ポリオワクチンは他の不活化ワクチンと混合して接種可能であり、VAPP発症のリスクもない。しかし、血中中和抗体を誘導するものの、抗体価の低下が早く、腸管でのウイルス増殖を抑えられないマイナス面もある。我が国は生ワクチンの接種により長期間ポリオフリーを維持してきたが、現在の生ワクチンから不活化ワクチンへの移行期におけるワクチン未接種者の増加、それによる集団免疫の低下が懸念されている。

「ワクチン接種により予防できる感染症はワクチンで予防する」ことが可能な時代を迎えているが、集団全体で高いワクチン接種率を維持することが重要となる。そして、より安全なワクチンの開発も今後の課題の一つと言える。

本研修会では、予防接種の現状を熟知している小児科開業医に講演してもらい機会を得られ、大変有意義な内容となった。

(文責：菊地孝司)

テーマ **マイクロプレート法の原理と特徴 血液型検査確定のためのポイント**

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成25年9月27日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：専門教科－20点

講 師：小野 昌樹（株式会社イムコア）

見城 千春（埼玉社会保険病院）

参加人数：会員92名 賛助会員2名

出席した研究班班員：渡邊一儀 見城千春 宮川勇 佐藤祥子 長谷川卓也 神戸考裕

洞庭敬子

研修内容・感想など

今回の研修会では、まず小野氏にマイクロプレート法の原理と特徴に関して講演いただいた。

マイクロプレート法は、まだ導入している施設は少ないものの感度、特異性ともに他方法と比較しても大きな差はない。なかには試験管法（PEG法）で陽性になった冷式抗体に関して、カラム法より陽性となる割合が低いというデータも示された。臨床的意義の低い冷式抗体は、その存在により重視すべき温式抗体の判定が困難になる場合がある。無用な冷式抗体を検出しにくい事は迅速かつ正しい判定に有用であると思われた。

次に見城技師に、血液型検査確定のためのポイントについて講演いただいた。ABO式血液型に関しては、正確に判定するための方法や手技について、オモテウラ不一致になってしまった時のポイントや判断基準等が示された。また、場合によっては緊急輸血への対応として、判定保留として適合血（赤血球O型製剤）を選択する必要がある、その対応等が議論された。RhD型に関しては抗D陰性の場合の対処として、D陰性確認試験の結果に対して陰性、WeakD、PartialDの判定の方法と、その後の輸血への対応等を解説いただいた。輸血検査において血液型の判定は最も重要な項目と言っても過言ではなく、異常反応が出た場合は、特に正しい対応が求められる。今回の講演はルチン担当者のみならず当直者においてもその対応への対策を考えるきっかけになったと思われた。

（文責：渡邊一儀）

テーマ FCM・細胞表面マーカーは難しく考えないで、原理やデータの見方を学ぶのは今がチャンス！

主催 血液検査研究班

実施日時：平成25年10月3日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：専門教科－20点

講師：高野 邦彦（ベックマン・コールター株式会社

ライフサイエンスクリニカルマーケティング統括部門サイトメトリー課）

参加人数：会員57名 非会員2名

出席した研究班班員：星孝夫 網野育雄 根岸永和 羽鳥浩司 田中正 橋口恵子 原誠則
圓田和人

研修内容・感想など

フローサイトメトリー（FCM）の言葉の解説から始まり、サンプル調整例を交えた分析方法とその原理、データ解析に至るまで解説していただいた。

データ解析では、前方散乱光〔(FS);大きさ〕と側方散乱光〔(SS);顆粒密度等〕を用いて白血球を分別し、目的とする細胞に正しくゲーティングすることが重要であること、また、結果の判定には1パラメーター(1カラー) 2パラメーター(2カラー)があり、末梢血リンパ球のT・B・NK細胞の同定には、2つ以上のサブセット(2カラー)を分析する必要があるとのガイドラインが紹介された。また、発作性夜間血色素尿症(PNH)の鑑別として、CD55と59の2カラー分析のみならず、GlycophorinAとの2カラーを見たり、赤血球が溶血していることが多いので、顆粒球も見ること等、希少で経験できない症例も大変参考になった。

ゲーティングについては、CD45は白血球共通抗原であるが、白血病細胞はCD45発現がしばしば低いことから白血病細胞をCD45蛍光強度で分別でき、CD38は形質細胞/多発性骨髄腫細胞に強陽性であることを用いて鑑別、また、発現するマーカーにより、どの分化段階・成熟段階の細胞が多いか、さらに、陽性率から、共発現も考えられる事が示された。

造血幹細胞移植や、生検組織(リンパ節)の検体処理、臓器移植前後のモニタリングについても解説された。

日頃分析にかかわっている施設以外で外部委託や、依頼が殆どない施設でも、FCMの結果を読み異常細胞の種類を推察することは、血液検査担当技師として携えておくべき知識であると思われた。

（文責：橋口恵子）

埼臨技ひろば

埼臨技有志釣りクラブ 第1回大会報告

埼臨技有志釣りクラブの第1回大会が11月2日(土)静岡県宇佐美沖で開催されました。天候は薄曇りで風もなく絶好の釣り日和で、和気あいあいととても楽しい釣行となりました。船は仕立て船(いわゆる貸切)で船長はちょっと怖い感じでしたが、どの会員も大漁でとても満足のいく釣果となりました。釣果は1.5kgの真鯛や約60cmのイナダそしてソーダカツオ、カイワリ等々、数も魚種も豊富でした。釣ったお魚は刺身、鯛めし、あら汁、焼き魚等々とても美味しくいただきました!!天然の鯛とイナダの刺身は最高でしたよ!!

第1回大会の結果報告をいたします。

優勝 長澤英一郎(さいたま市立病院)

準優勝 岡田 茂治(埼玉県立がんセンター)

3位 奈良 豊(埼玉医科大学総合医療センター)

特別賞 榎本 英雄(埼玉県立小児医療センター)

☆次回の第2回大会は平成26年1月に小田原港近辺を予定しています。会員の皆様どうぞご参加下さい。入会希望メールをお待ちしています。

入会申し込みの連絡先:sairingi_fishing_club@yahoo.co.jp

世話役:岡田(埼玉県立がんセンター)



小崎名誉会員に表彰していただきました。

投稿御礼!! 埼臨技大喜利

エンターテインメント7番!!

ミントンおやじさんの作品

お題:〇〇病院、細胞検査室の会話

後輩技師:先輩~! この間の検体の癌細胞の組織型分かりました。腺癌です。

先輩技師:はあ??

後輩技師:腺癌です!

先輩技師:洗顔。

後輩技師:腺癌ですよ!

先輩技師:洗顔!

後輩技師:先輩、発音間違ってますよ?

先輩技師:間違ってるのは、お前の答えだ!

顔洗って出直して来い!

ミントンおやじさん投稿ありがとうございました。

新たに「投稿御礼!! 埼臨技大喜利」の投稿を募集します。

埼臨技事務所までメールでどうぞ!

平成25年度
社団法人埼玉県臨床検査技師会
第7回 理事会議事録

日 時：平成25年10月10日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項

Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席者：砂川、津田、前原、岡田、奈良、猪浦、
長岡、伊藤、島村、松岡、小島、濱本、
藤井、長澤、小関、茂木、小山、野瀬、
遠藤

Ⅰ. 行動報告(平成25年9月12日～平成25年10月9日)

9月12日(木)第6回理事会：

砂川、津田、神山、前原、矢作、
奈良、猪浦、長岡、伊藤、島村、
松岡、小島、高嶋、濱本、藤井、
長澤、小関、茂木、山口、野瀬、
遠藤

9月18日(水)検査室運営研修会：

津田、前原、高嶋、藤井、長澤

9月24日(火)第8回深谷福祉健康まつり実行委
員会：濱本

9月25日(水)第42回埼玉県医学検査学会実行委
員会：奈良、松岡、濱本、長岡

9月28日(土)日臨技公益委託事業がん予防啓発
活動：

砂川、津田、神山、矢作、岡田、
奈良、猪浦、長岡、伊藤、小島、
高嶋、濱本、藤井、長澤、野瀬

10月5日(土)関甲信支部内連絡会議・学術合同
会議：神山、砂川、津田、

10月6日(日)関甲信支部医学検査学会記念式典：
砂川

10月5日(土)・6日(日)関甲信支部学会：

砂川、津田、神山、矢作、奈良、
伊藤、小島、小関、茂木、小山、
山口、野瀬、

10月9日(水)第44回日本看護協会学術集会：
神山

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1)平成25年度埼玉県公衆衛生事業功労者とし
て以下の4名が表彰されることが決定した。

奈良 豊氏(埼玉医科大学総合医療センター)

鳥山 満氏(獨協医科大学越谷病院)

羽鳥 浩司氏(埼玉社会保険病院)

小松 正人氏(さいたま赤十字病院)

表彰式

日 時：平成25年11月22日(金) 14:00～

会 場：さいたま共済会館6階ホール

2)第7回埼玉医療安全大会出席について

日 時：平成25年11月9日(土) 13時～

会 場：ラフレさいたま3階桜の間

3)10月1日、群馬県臨床検査技師会 深澤恵
治会長へ弔電を送った。

4)第10回ヘルシー・ソサエティ賞候補者の推
薦について

2 総務部

1)「埼臨技だより」第413号発行(10月15日発
行予定)

3 事業部

1)9月24日、第8回深谷市福祉健康まつり実
行委員会が開催された。

2)9月25日、日臨技に「検査と健康展」の企
画申請を行い承認された。第42回埼玉県医
学検査学会にて開催する。

3)第2回検査室運営研修会開催企画について
報告があった。平成26年2月25日開催予定。

4 学術部

1)12月1月生涯教育プログラム10月15日発行
予定

5 精度保証部

6 会計部

1)だより411号印刷代100,450円、だより412号
印刷代100,450円、合計200,900円を石井印刷
に支払った。

7 精度管理委員会

1)埼玉県臨床検査精度管理速報を10月15日に
発行予定

8 関甲信支部

1)10月5日、関甲信支部内連絡会議・学術合
同会議を開催した。

・次期支部学会：平成26年9月27日(土)・

28(日)に、栃木県担当で、きぬ川スパホテルにて開催。

- ・人材育成研修会：平成26年2月1(土)・2(日)に山梨県技師会が担当で石和にて開催。
- ・支部研修会：平成25年11月24日(日)にホクト文化ホール(長野県県民文化会館)で開催される、輸血部門の支部研修会について参加者が少ないため再周知をお願いしたい。

9 第42回埼玉県医学検査学会

- 1) 第42回埼玉県医学検査学会第11回実行委員会を開催した。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(会費納入済)(平成25年度分)
会員数 2,318名
(新入会員176名[平成24年度会員数2,256名])
賛助会員 67社[平成24年度 69社]
平成25年10月2日現在

2 総務部

- 1) 第42回埼玉県医学検査学会における各委員の配置案について

3 事業部

- 1) 検査室運営研修会決算報告について
- 2) 日臨技公益委託事業がん予防啓発活動決算報告について
- 3) 平成25年度糖尿病無料相談会派遣スタッフについて
- 4) 第8回深谷市福祉健康まつり派遣スタッフについて

4 学術部

5 精度保証部

6 会計部

Ⅳ. 議事の経過の概要およびその結果

定款24条の規定により、会長 砂川進氏が議長となった。

事務局

1. 「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会」の受講者申請および推薦について
砂川会長より標記の議案について発言が

あった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で岡田茂治氏を推薦することを決定した。

総務部

1. 埼臨技ロゴマーク選考方法について
岡田部長より標記について、第42回埼玉県医学検査学会で応募作品を公開し、会員の意見も参考に選考委員会において決定したい旨提案があり、出席理事全会一致で承認した。
2. 第43回埼玉県医学検査学会について
岡田部長より標記について、開催日と開催会場について提案があり、出席理事全会一致で承認した。開催日は平成26年12月21日(日)、開催会場は大宮ソニックシティである。

事業部

1. 平成26年賀詞交歓会について
長澤理事より、招待者について資料を元に提案があり、出席理事全会一致で承認した。

学術部

精度保証部

会計部

その他

求人案内

正職員・臨時職員(パート)募集

求人先：医療法人社団 和風会 所沢中央病院
採用人員：臨床検査技師
業務内容：生理検査、検体検査、
超音波検査等
超音波検査経験者優遇いたします。
連絡先：TEL 04-2994-1265
(事務長 服部)

求人案内

正職員募集

求人先：三郷中央総合病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：検体検査、生理検査
 (2~3回/月当直あり)
 連絡先：TEL 048-953-1325(内線 1120)
 (総務課 斎藤)
 見学も随時受け付けています。事前にご連絡下さい。

正職員募集

求人先：特定医療法人財団 健和会 みさと健和病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：検体検査、生理検査、
 内視鏡介助、採血 他
 当直・早番あり(月2~3回)
 連絡先：TEL 048-955-7171(代)
 (検査課 伊藤・佐藤)

正職員募集

求人先：大宮レディスクリニック
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：①臨床検査技師
 ②胚培養士(未経験者可)
 連絡先：TEL 048-648-1665
 (事務長 出居(いでい))

正職員募集

求人先：医療法人社団 協友会 東大宮総合病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：検査業務全般
 連絡先：TEL 048-681-0366
 (人事課 採用担当)

正職員募集

求人先：医療法人 康麗会 越谷誠和病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：検査業務全般
 検体検査、心電図、超音波 等
 連絡先：TEL 048-966-2711(代)
 (総務課 高野)

正職員募集

求人先：入間ハート病院 健康管理センター
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：健康管理センターにおける
 健診業務
 連絡先：TEL 04-2935-5097
 (事務室 大熊)

正職員募集

求人先：医療法人 三慶会 指扇病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：生理機能検査
 超音波検査
 連絡先：TEL 048-623-1103
 (総務課 関根)
<http://www.sashiogi.com/>
 E-mail:jinji-boshu@sashiogi.com

正職員募集

求人先：社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス
 東埼玉総合病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：主に生理機能検査業務
 心電図、脳波、超音波検査(経験者歓迎)
 採血 等
 連絡先：TEL 0480-40-1311
 (管理部 総務課 内田)
 E-mail:ch_uchida@jin-ai.or.jp

尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については掲載してある連絡先にて確認をお願いします。

その他(常勤嘱託職員)募集

求人先：さいたま赤十字病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：病理検体処理(産休・育休期間代替要員)
 採用期間：平成26年3月～平成27年5月(契約更新なし)
 連絡先：TEL 048-852-1196(人事課直通)
 (人事課 松本)

正職員募集

求人先：さくら記念病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：超音波、生理検査、
 検体検査 等
 連絡先：TEL 049-253-3811
 (事務長 大井)

正職員募集

求人先：医療法人一成会 さいたま記念病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：化学検査、血液検査、一般検査
 生理検査(心電図、聴力、スパイロ、
 脈波 等)
 連絡先：TEL 048-686-3111(内線 631)
 (検査科 加賀谷)

正職員・臨時職員(パート)募集

求人先：医療法人社団 全仁会 埼玉筑波病院
 採用人員：臨床検査技師
 業務内容：臨床検査業務全般
 検体検査、心電図 等
 連絡先：TEL 048-992-3135(内線 157)
 (総務課 石川)

尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については掲載してある連絡先にて確認をお願いします。

あ と が き

体内時計

一般検査の技師は5分を計る体内時計を持っています。沈渣を遠心している5分間に、沈渣鏡検・定性検査・その他もろもろの検査を行い遠心終了。そして次の検体を遠心・・・これを繰り返し行っているうちに染み付いた体内時計だと思います。

お酒を飲んで帰りが0時を過ぎた夜、玄関の鍵を開ける音が無意識に静～かになりました。結婚20年、これも小言予防のため身に付いた、体内時計の仕業でしょうか？

あなたはいくつ体内時計を持っていますか？

(猪浦 記)

